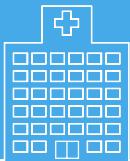


YOKA HOSPITAL NEWS

八鹿病院 ニュース



2017年

7月号

地域に暮らす人々と共に
心あたたかな医療をすすめたい



yoka hospital 「医療」

新CT導入

- 新院長ご挨拶
- トピックス
- 八鹿病院からのお知らせ

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い医療
と優れたサービスをもって、住民
の健康を守り、地域の発展に尽く
します。



当院は敷地内全面禁煙です。
ご協力宜しくお願ひいたします

新院長就任のご挨拶

院長 後藤 葉一



【略歴】

1976年 京都大学医学部卒業
1980~1991年 国立循環器病センター研究所
1986~1988年 米国バーモント大学に留学
1991~2006年 国立循環器病センター心臓血管内科 医長
2006~2017年 国立循環器病研究センター心臓血管内科
・循環器病リハビリテーション部 部長
2003~2017年 京都大学医学部臨床教授(循環器内科学) (兼任)
2017年4月 公立八鹿病院 院長

【その他の活動】

日本心臓リハビリテーション学会理事長、日本医療研究開発機構(AMED)副主任研究者、日本循環器学会ガイドライン執筆委員など

【趣味】

旅行、写真、読書

このたび新院長として着任しましたのでご挨拶を申し上げます。公立八鹿

病院は、西南但馬地域の中核的な病院として、充実した医療職スタッフの活動により急性期から回復期、維持期に至るまでの医療を精力的に展開し、まさに地域住民の生命を守り健康長寿を実現する役割を果たしていきます。この点で「超高齢化を迎えた現代日本において包括的な地域医療を実践している先進的医療機関」と言えると思います。

当院の使命は言うまでもなく、住民の皆様から信頼される質の高い医療の提供です。そのためには、各診療部門や職種が緊密に連携して患者さんに寄り添う優しい医療を提供するというこれまでの方針を継続するとともに、ガイドラインやエビデンスに基づく質の高い医療の実践に全力で取り組む所存です。

一方で当院が抱えている常勤医師確保と経営改善という課題の解決をめざして、大学医学部との連携強化に加えて、当院が若い医師にとつて働き甲斐のある職場となるために、診療プロセスの透明化や教育研修体制の充実を図りたいと考えています。

また、経営改善のためには透明性のある病院運営とそれに基づく住民の皆様からの信頼が必要です。外部から見てわかりやすい診療体制や病院運営を心掛けることが皆様からの信頼につながり、それが長期的な経営改善にもつながると考えています。当院は基本理念として、「私は地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽力します。」と高らかに宣言しています。この理念の実現のために、微力ながら誠心誠意尽くしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



次世代のCT装置を導入しました

—早期発見のための新たな一歩が始まります—



IQon Spectral CT

今年の5月末に、日本で6台目の稼働、関西では初の稼働となる、次世代のCT装置、IQon Spectral CT（アイコン・スペクトラル CT）（フィリップス社製）を導入しました。

CT装置は、1975年頃から登場し、年々進化し続けて、2000年代になると短時間で全身を撮影できるようになります。医療現場において、なくてはならない検査法の一つとなっています。最近では、画像処理技術の発展により、被ばく線量の低減ができる装置が登場しています。最新のCT検査技術では、高いエネルギーと低いエネルギーを用いて、X線吸収撮影する方法が開発されています。その最新技術は、CT装置メーカーでも高位機種にしか搭載されていません。その方法には、エネルギーの違う二つの管球で同じ場所を二回撮影する方法、一つの管球でエネルギーを変えるながら撮影する方法、一つの管球でエネルギーを変えて同じ場所を2回撮影する方法、一つの管球で二回撮影で検出器にてエネルギーを変える方法があります。当院に導入したCT装置は、検査を受けられる方の負担が一番少ない、最新の撮影方法です。

CT装置は、1975年頃から登場し、年々進化し続けて、2000年代になると短時間で全身を撮影できるようになります。医療現場において、なくてはならない検査法の一つとなっています。最近では、画像処理技術の発展により、被ばく線量の低減ができる装置が登場しています。最新のCT検査技術では、高いエネルギーと低いエネルギーを用いて、X線吸収撮影する方法が開発されています。その最新技術は、CT装置メーカーでも高位機種にしか搭載されていません。その方法には、エネルギーの違う二つの管球で同じ場所を二回撮影する方法、一つの管球でエネルギーを変えるながら撮影する方法、一つの管球で二回撮影で検出器にてエネルギーを変える方法があります。当院に導入したCT装置は、検査を受けられる方の負担が一番少ない、最新の撮影方法です。

そしてさらに、スペクトラルCTとつて、他の装置ではない、低エネルギーから高エネルギーまで、多種類のエネルギーを指し、八鹿病院を受けられるみなさま方に、他では得られない医療情報を診療の場に提供したいと考えています。ぜひ、八鹿病院で超最新の検査を受けてみて下さい。



一つの管球で一回の撮影で検出器にてエネルギーを変える方法

トライやるワーク

平成29年5月29日から6月2日の5日間、養父市内の中学生10名が「トライやる・ワーク」の活動を行いました。10名の中学生は、学校毎に3つのグループに分かれて、病棟・薬局・リハビリ科・施設課・画像診断科・栄養管理科・検査科・中央材料室など、院内の様々な部署の業務を体験しました。

体験した中学生からは、「医療の仕事の大変さと楽しさを感じた」「看護師になりたいという夢がありはつきりした」「病院の職員の仕事ぶりを見てあこがれた」という感想がありました。そして、指導に



かかわったスタッフは、病院の仕事を興味を持つてもらえたことに喜びを感じていました。今回の体験を今後の学校生活や将来の夢につなげていただけることを祈っています。

平成29年5月29日、公立八鹿病院を応援する会の守本竜司会長をはじめ、19名の会員の皆様が当院へ公式訪問にいらっしゃいました。病院組合の富勝治管理者よりご挨拶を申し上げ、後藤院長が感謝の意と八鹿病院の使命、強みと課題についてお伝えした後、一同で意見交換を行いました。

八鹿病院を市民の意識で支えようとのスローガンで活動している皆様のご協力は、地



域医療の重要性への意識向上と充実につながっており、職員一同、大変心強く感じているところです。またこのたび、新院長名前入りの大変立派な応援旗をありがたく頂戴いたしました。皆さんの大変なご理解とご協力にたいしましてこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

「公立八鹿病院を応援する会」の皆様が来院

看護週間

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を看護の日と制定されています。この活動は、『看護の心をみんなの心に』をテーマにした普及活動です。看護の心、ケアの心、助け合いの心を年齢、性別を問わず誰にも育むきっかけになるよう毎年行なっています。

八鹿病院看護部の白鳩会では、健康チェック（血圧測定、体重測定）、健康相談、手洗いチェックコーナー、防災対策コーナーなどイベントを実施しました。また、他部署にも協力をして頂き栄養指導、リハビリ相談、お薬相談や、ボランティアの方のピアノ演奏、絵の



展示、介護用品の展示を行い、それぞれたくさんの方が利用され好評を得ています。私たちは日々現場で、患者さんやご家族の方に寄り添える看護をめざしています。このイベントを機会にアンケートを実施し、たくさんの方にご協力をいただきました。この結果を振り返り、皆様方が気持ちよく当院を利用され、満足していました。」
だけるよう努力していきます。

ボランティア総会

平成29年6月1日（木）『平成29年度公立八鹿病院ボランティア総会』が開催されました。日頃お世話になつておられるボランティアのみなさん24名の参加がありました。5月だというのに暑い日が続いた後でしたが、元気みなさんにお目にかかるれうれしく思いました。トライアル・ウイークの中学生10名もスタッフとして参加していました。

今年4月に着任されました後藤院長の挨拶では、見返りを望まないボランティア活動を続けらるている気持ちがうれしいと話され、ボランティアのみなさんに感謝の気持ちを伝えられました。長島忠士会長は都合で欠席されてしましましたが、満場一致で平成29年度も継続して会長をお願いすることになりました。



ボランティア会員自己紹介では、グループ単位で活動内容の紹介をしていただき、会員相互の交流になりました。
恒例の講演会は『認知症予防のための運動のすすめ』と題して、公立八鹿病院老人保健施設・理学療法士吉田一正主任から話を聞きました。認知症の動向・症状などの話の後に、運動の実技を加えての講演でした。さすがボランティアのみなさん、「それ知ってる」との声も聞かれる中、積極的に体を動かし、心地よい時間を過ごしました。
最後に、今後におけるボランティア活動継続のお願いと、ボランティアのみなさまが健康でお過ごしいただけることを祈念し、総会を終了しました。公立八鹿病院・老人保健施設では、地域の方との触れ合いを大切に考え、ボランティア活動継続のお願いと、ボランティアのみなさまが健康でお過ごしいただけることを祈念し、総会を終了しました。公立八鹿病院・老人保健施設では、地域の方との触れ合いを大切に考え、ボランティア活動継続のお願いと、ボランティアのみなさまが健康でお過ごしいただけることを祈念し、総会を終了しました。公立八鹿病院・老人保健施設では、地域の方との触れ合いを大切に考え、ボランティア活動継続のお願いと、ボランティアのみなさまが健康でお過ごしいただけることを祈念し、総会を終了しました。ご連絡をいただとすると幸いです。





八鹿病院からのお知らせ

【循環器内科の診察について】

循環器内科外来の診察について、月曜日と木曜日に後藤院長が加わり、医師2名体制となりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

【大腸内視鏡検査について】

5月より、応援医師による大腸内視鏡検査枠が増えました。今まで大腸内視鏡検査は消化器内科のみでの対応となっていましたが、他の診療科からの検査依頼も可能となりました。また、胃腸科では便潜血陽性の方にはCTコロノグラフィーの予約をお取りしていましたが、今後は患者様と相談の上、大腸内視鏡検査かCTコロノグラフィーを選んでいただけるようになりました。どうぞご利用ください。

公立八鹿病院組合議会について

公立八鹿病院組合には、市や町の地方公共団体と同様に、地方自治法で定められた議会があり、条例・予算等について審議を行います。

組合議員の定数は12名(養父市8名、香美町4名)で、組合構成市町の議会議員の中から選任され、定例議会が年に4回開催されます。このたび、香美町議会議員の任期満了にともない、病院組合の議会議員も新たに選任されましたので紹介いたします。

【議長】深澤 巧(養父市) 【副議長】上田 勝幸(香美町)

【議員(香美町)】山本 賢司(新任) 西坂 秀美 徳田 喜代子(新任)

【議員(養父市)】田路 之雄 谷垣 満 田村 和也 瀬原 達夫 藤原 芳巳 足立 隆啓 勝地 貞一

医師異動のお知らせ

【新任医師】～よろしくお願ひします～

平成29年7月1日付



泌尿器科
うえおか
上岡 克彦



外科
きん やすお
金 泰雄

【退任医師】～お世話になりました～

平成29年6月30日付

顧問 谷風 三郎(引き続き非常勤医師として勤務)

外科 松本 学



Facebookはじめました。

公立八鹿病院 公式Facebookページを開設しました

このたび当院では、従来の公式のホームページとは別に、公立八鹿病院の公式Facebookページを開設いたしました。公式ホームページでは、診療に関するお知らせや、院内イベントの告知、職員募集等の案内等を行っていましたが、地域を越えてより多くの方に八鹿病院を知っていただくため、これらのホームページ上での更新情報に加えて、より幅広く、「やわらかい」記事をふくめて発信していく予定です。地域の皆さんも、ぜひ当院のFacebookページを積極的にご利用、お楽しみいただき、もしアカウントをお持ちの方は、いい投稿があれば「いいね!」や「シェア」をしていただければ幸いです。



- ①facebookの検索窓で「公立八鹿病院」を検索
- ②直接URLを入力
<https://www.facebook.com/yokahospital/>
- ③右のQRコードを読み取る



発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1 TEL. 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

